

令和6年度「要望研究テーマ」の紹介

新潟市や新潟市医師会がどのような研究成果を特に必要としているかを「要望研究テーマ」として紹介しています。令和6年度は、下記のテーマとその必要理由を紹介します。

申請に際しては、同じ研究テーマ名にする必要はなく、適宜変更してください。紹介理由と異なる視点での研究計画を立案していただいても結構です。また、「要望研究テーマ」以外の、研究者自身の自由な発想での研究の助成申請も受け付けます。審査に際しても、「要望研究テーマ」と従来通りの「自由発想研究テーマ」は、同等に扱われます。

1. 新潟市における地域医療構想

新潟市における地域医療構想を推進するにあたっては、二次救急輪番体制を始めとする病院の機能分担や再編成等、医療資源の適正配置が課題として挙げられています。それらの解決に向けた提言につながる研究を募集します。

2. 新型コロナウイルス感染症流行後の小児感染症

新型コロナウイルス感染症流行後、小児の様々な感染症の疫学が大きく変化しました。特に予防手段のあるRSウイルス、インフルエンザなどは、その流行予測が困難となり、多くの問題が生じています。この現状把握、課題解決に向けた研究を募ります。

3. 医療DXと医療に関する研究

2022年に政府は「医療DX 令和ビジョン 2030」にて、2030年までに国内の全ての医療機関で電子カルテを導入し、情報のベースを電子媒体とすると宣言しました。現在、オンライン資格確認、電子処方せん、保険証のマイナンバーカードへの移行を進めていますが、課題も多いのが現状です。課題解決に向けた研究を幅広く募ります。